

KEY TOPIC

進化のための変化——2026年、中広グループの抱負

フィフティエックス

50Xプロジェクト始動！

2026年の幕が開け、「Data Driven Innovation」をスローガンに、「生産性向上」をテーマに全社一丸で走ってきた2025年度も残り3ヵ月となりました。広告業を通して地域社会に貢献することを理念とする中広グループの2025年を振り返りつつ、2026年にどのような飛躍を目指すのか。大島斉社長に抱負を聞きました。



代表取締役社長 大島斉

AIを実装し出会いに恵まれた2025年

あけましておめでとうございます。旧年中は当社グループの事業推進におきまして、クライアント、読者、関係者の皆様と、多くの方々に支えていただきました。厚く御礼申し上げます。

2025年の抱負を、私は「AI元年」としました。ご存知の通りAIは今や、ビジネスの現場はもちろん日常生活にも浸透し、従来の様式や効率を大きく変えています。

当社グループにおいては2025年、独自の生成AIシステム「CAI(解)」を開発しました。これによって原稿制作の時間を飛躍的に低減させるだけでなく、新たな表現アイデアや切り口の発見を可能とするなど、生産性やクリエイティブ力を向上させることができました。

さらに、膨大なアーカイブから高反響の事例を業種別に検索するなど改修を重ね、実践知の活用や反響の再現性など、新たな領域にも挑戦。CAIはさらに進化し、2026年の事業推進にも大きな役割を果たす予定です。

新しい仲間と出会えたのも、2025年の大きなトピックスです。7月には株式会社中広ワークインがグループイン。同社が持つ地域の求人課題の解決力を、当社グループに早々に融合してくれました。また、アライアンス事



業では新しいVC*加盟社をお迎えしただけでなく、東北、中四国九州など、新たに地方ブロックごとのVCサミットを開催。情報誌づくりの最前線にいる現場の方々との交流を経て、商品力を磨く機会を創出できました。2月には関東VCサミットも開催する予定です。

50周年に向けて変革を起こす2026年に

2026年、株式会社中広は創業49年を迎えますが、私は来るべき50周年を「100年企業に向けた転換点」にすると決意しています。日本において、100年続いている企業は全体の1~3%程度しかありません。中広グループを必ずその輪に加えるべく、次の50年、今以上に地域の皆様から愛され、必要とされる、革新的で強固な企業を目指します。

そのための合言葉は、「50X(フィフティエックス)」です。

すなわち、50周年を境に中広グループをトランスフォーメーション(変革)させる。具体的には、地域読者の生活動線の全てを支える「地域データのインフラ企業」に進化させる。そのための2026年です。

2025年、私たちは情報誌の求人において、紙からWEBへの拡散プランを構築し、紙のみの掲載時に比べて反響数を500%増加させるという、確かな成果を得ることができました。これは紙得意な潜在層への訴求と、WEB得意な頭在層への訴求の相乗効果

大島 斎

*VCとはVoluntary Chain(ボランタリー・チェーン)の略で複数の仲間が独立性を保ちながら、志を共に協同で企画・編集・営業・運営する組織。

COLUMN

年頭所感

—「ありがとう」が飛び交う企業群へ—



あけましておめでとうございます。
2026年が静かに、しかし確かな
鼓動をもって幕を開けました。
ご家族お揃いで新年を迎えたこと、
心よりお慶び申し上げます。
そして、今日この日もそれぞれの持ち場で
新しい一步を踏み出したすべての仲間に、
深い感謝と敬意を表します。

「怒」から「寄り添う」 そして「ありがとう」へ

中広グループは7社742名で新年を迎めました。昨年7月にはCWIが仲間に加わり、多士済々の体制で創業49期に入ります。来年迎える創業50周年、その先の100周年への布石を打ちながら、「広告の力で日本を元気にする」という大義を現実化する勝負の年です。

企業とは単に利益を上げる装置ではなく、思想と大義を宿した人の集団です。思想なき組織はやがて漂流し、大義なき事業はいずれ空洞化します。昨年、私は論語の一節「それ、怒なり」を抱負に掲げました。怒とは思いやり、「相手の立場に身を置いて考えよ」という普遍の教えです。

広告は知らしめ、行動せしめて初めて成立します。故に広告を担う私たちは、誰よりも深く人の心を理解しなければならない。その根本が「怒」です。相手の立場で考え、痛みを思い、希望を先回りして感じ取る。この思想を内に刻んだ集団になってこそ、大義に近づけます。

昨年は一步踏み込み、「寄り添う」としました。相手が見ている世界をそのまま認める。この覚悟が寄り添いです。分かろうとする努力を手放さず、理解しようとし続ける姿勢が、組織を芯から強くします。十分であったとは言えませんが、寄り添おうとする意志は確実に根付き始め、今のたくましい中広グループを形づくっていると確信しています。

では2026年に養うべき「心」とは何か。今年の中核的思想を、私は「ありがとう」と定めます。私たちは決して一人で生きているのではありません。成功も失敗も、必ず「誰か」の存在があります。そうした現実を肯定的に受け止める姿勢を、私は「すべて善し」と表現しています。

今日働くこと。仲間がいること。家族がいること。健康であること。すべては当たり前ではありません。2026年、「ありがとう」が社内に飛び交う一年にしようではありませんか。「ありがとう」が響き合う職場には必ず笑

顔が生まれ、その文化がある企業は必ず100年続きます。

AI活用元年 AIで先頭に立つ一年に

世界に目を向けると、日本を取り巻く環境は厳しさを増しています。地政学的な緊張、中国の圧力、世界経済の不安定化——世界は決して穏やかな時代ではありません。國力低下という問題も抱える中、日本に残された唯一にして最大の資源は「人」にはなりません。

働き方改革のもと、働きかない改革が進んだ側面は否めません。勤勉さを失った国家は、必ず衰退します。働いて、働いて、なお働く。2025年の新語・流行語大賞となった高市首相の言葉通り、この当たり前の倫理をもう一度取り戻さねばなりません。

二つ目は、『地域みっちゃん生活情報誌』1,250万部を家庭に直接届ける力です。この圧倒的配布網と到達力を有する広告会社は、日本で中広グループだけでしょう。買い物、健康づくり、仕事探し、地域とのつながり——社会を覆う不透明感が増しているからこそ、情報を通じて足元の生活を支える役割が求められています。全国5,000万世帯に情報誌を届け、地域の生活を広告の力で支える素地は整っています。我々が担っているのは地域の活性化だけでなく、地域課題や社会課題の解決。5,000万部という目標は、生活インフラとしての一つの到達点なのです。

三つ目は「人は石垣、人は城」という言葉に集約されます。同じ志を持つ仲間が千人規模に到達しようとしていることが、中広グループの発展繁栄をもたらす何よりの力です。

そして四つ目は、そんな仲間たちが、人間的にも着実に成長していること。広告とは生活の鏡であると申します。地域を愛し、学び合い、ともに育ち、喜怒哀楽を受け止める。広告に関わる私たちは、誰よりも高い教養が求められます。教養経営(リペラルアーツ)——すなわち生活を、人間を深く理解する力が、社風として根付きつあります。この四つが大躍進を確かにします。

頼もしく成長し続ける仲間たちにこの言葉を贈ります。「驚馬十驚」(驚は一日にして千里なるも、驚馬も十驚すれば之に及ぶ)。中国の思想家荀子の言葉で、「努力を重ねれば、優れた才能の人たちに並ぶことができる」という教えです。大切なのは積み上げる力、継続できる集団であろうではありませんか。

グループ全員の健闘と成長を心から祈りつつ、2026年が中広グループにとって最も人間的で、最も力強い一年となると確信して、年頭の挨拶といたします。本年もともに学び、ともに働き、ともに笑い、「ありがとう」と言い合える上機嫌な一年にいたしましょう。

18周年の節目に贈る、十八番にまつわる大特集

地域みっちゃん
生活情報誌。

地域で輝く人の十八番からまちの魅力を再発見

創刊18周年を迎えた『よっかいちai』(三重県四日市市)11月号のコンセプトは、「MyOHAKO MyTOWN あなたの“十八番”が、街を輝かせる」。14の企業・店舗に参加いただいた巻頭特集「ワタシ」の18番教えちゃいますでは、それぞれの仕事や活動に対するこだわりを紹介。4ページにわたる読みごたえのある企画となりました。巻頭運動企画「このお店の18番教えちゃいます!」は、シックで落ち着いた巻頭特集とは対照的に、ポップで楽しいデザインを採用。表紙から巻頭運動企画に至るまで、十八番というテーマを通じて、地域の魅力を再発見できる誌面となりました。

クライアントからは「話題に出されることが増え、記事に共感いただいた方からのお問い合わせもありました」、読者からは「初めての切り口で面白い。顔が見えるっていいですね!」といった反響が寄せられています。これからも地域に愛される情報誌として、まちを元気にする企画づくりにまい進してまいります。

(よっかいちai編集室・齊藤)

住宅展示場で産学協力のイベントを開催

イベント

損得を超えた価値を創出する企画力

群馬県伊勢崎市の住宅展示場を運営する担当者より、「伊勢崎高校吹奏楽部とコラボして、展示場を発表の場として活用できないか」と相談いただいたことがきっかけとなり、実施に至った本イベント。コンテンツとしては指揮者体験・演奏・生徒や展示場のハウスメーカー担当者のインタビューと盛りだくさん。さらに、地元で活躍するインスタグラマーを招き、ラジオの公開生放送も実施しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、145人が来場し、大盛況のままイベントが終了しました。

近年、来場者を集めるには、お得意感のあるコンテンツが求められる傾向にありますが、今回の産学協力イベントは、損得感を超えた価値を生み出した結果、多くの来場者のにぎわいをつくり出すことができました。当社では、事業所独自の課題解決から地域貢献に至るまで、幅広く柔軟に提案させていただきますので、お悩みの際はどうぞお申し付けください。

(伊勢崎フリモ編集室・中村)



HAPPY MEDIA

『ままこっと®』



【配布先】県内全域の幼稚園・保育園・こども園
【設置先】産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等
【仕様】冊子A5版 オールカラー

【発行時期】年4回(1月・4月・7月・10月)

『Start!』



【配布先】高校
【仕様】冊子A4 オールカラー
【発行エリア】山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県、福岡県

地域に広がる情報発信力が生む反響効果

地域みっちゃん
生活情報誌。

地域の名店の快挙を、まちの誇りとして発信

2025年5月、三重県津市のパウムクーヘン専門店「トキノワ」が「全国菓子大博覧会」にて最高賞である名誉総裁賞を受賞。「この受賞をたくさん的人に知つてもらいたい」というオーナーの思いを伺い、「つうび～す」の表紙・巻頭特集を活用した情報発信をご提案して、企画が実現しました。

巻頭特集では、パウムクーヘンづくりにかけるオーナーの思いとこだわりを丁寧に紹介。読者に喜んでもらいたいと、受賞商品もプレゼントとして提供いただきました。

発行後、読者からは「好きなお店が紹介されていてうれしい」「地元にこのような名店があることを誇りに思う。買いに行きます」などの声が集まり、プレゼントには1,300通を超える応募がありました。オーナーからも「大きな反響がありました」と、掲載効果に大変満足いただいている。これからも誌面を通じた地域情報の発信と、地元経済の活性化を目指していきます。

(つうび～す編集室・下)



データに基づく課題発見をサポート

アンケート調査

来場者の評価を可視化して課題抽出へつなげる

名古屋駅から徒歩圏内に位置する「ノリタケの森」は、ミュージアム、ショップ、レストラン、カフェなど多彩な魅力を備えた産業観光施設です。このたび当社は、同施設に関する調査を受託し、来園者と園内の施設利用者を対象としたアンケートを実施しました。

きっかけは、以前ご提案した謎解きイベント企画書内の「アンケート集計」「効果測定」「分析」に関心を持っていただいたことでした。クライアントから提示いただいた質問事項をもとに設問を設計し、協力会社のサポートを得ながら調査を実施。来場者の評価の把握を目的とした本業務を通じ、今後の課題抽出に生かせるデータを提供し、期待に応えることができました。

当社では課題解決に向けたサポートはもちろん、課題そのものを明らかにするための調査や分析も可能です。業務改善や新規施策の検討など、必要な情報の整理段階からご相談を承りますので、お気軽にご相談ください。

(中部PM2課・鳥丸)



CHUCO CLUB

第1回中四国九州VCサミット開催

11月28日、初の中四国九州エリアVCサミットを福岡市・博多にて開催。各社から読者のためのさまざまな工夫を凝らした施策、地域課題への取り組み等が紹介されました。

その後は6組に分かれ、グループディスカッションを実施。初対面のメンバーが多いなか、情報誌で地域を活性化したいという共通の目的のもと、どのテーブルでも熱い議論が交わされました。終了後には、もっと議論の時間がほしかったという要望も多々ありました。

本エリアでは7社15誌約85万部の「地域みっちゃん生活情報誌」が発行されています。次回開催時には、より多くの仲間と発行理念を共有し、地域を元気にできるよう、この輪を拡げてまいります。

(アライアンス事業部・高橋)



▲ 広島から宮崎まで9社26名のVC・VC2加盟社・中広グループが集合



▲ 白熱したグループディスカッション

部署だより NO.144

FM事業部
『高崎フリモ』編集室



高さ40メートルを超える白衣大観音が有名な群馬県高崎市で、前身時代から数えて30年近くの間、毎月12万部を発行している地域みっちゃん生活情報誌『高崎フリモ』。その編集・制作作業を担当しているのが当編集室です。高崎の街歩きがもっと楽しくなるように、市内の話題やおすすめスポットに加え、高崎だるまや、高崎産小麦で製造したパスタ、新鮮な地場野菜など、地域自慢の特産品も楽しく分かりやすく紹介しています。

編集室は女性5名・男性1名の個性豊かなメンバーで構成され、若手から子育て中のママ、ベテランまで幅広い層が活躍中です。企画から取材、編集まで、日々アイデアを出し合ながら、読者に「面白い!」「行ってみたい!」と思っていただける誌面づくりを心がけています。

高崎の魅力を、明るく前向きに発信する編集室として、これからも地域のワクワクを届けてまいります。今後の『高崎フリモ』にぜひご期待ください。

(高崎フリモ編集室・関口)

2025年度インターンシップを開催

去る12月4日、名古屋開催を皮切りに今年度のインターンシップがスタート。冒頭では大島社長より、経営理念や今後の事業展望について力強いメッセージが送られ、創業50周年の節目に入社を目指す大学3年生へ熱意を伝えました。続く広告業界セミナーでは広告の価値や魅力を紹介し、グループワークでは広告営業・編集体験を通じて、当社への理解を深めていただきました。最後の先輩交流会では、和やかな雰囲気のなか、当社の温かい社風を感じてもらえる時間となりました。

今回の参加者10名の満足度は5点満点中4.6と高評価で、12月・1月にも複数回の開催を予定。今後も新たな人材の発掘と育成に努めてまいります。

(人財開発課・伊藤)



VCTOPIC

埼玉県『TOWN NEWS NAOZANE』株式会社ピーアイピー

創刊10周年、地域への感謝を形にした特別号

埼玉県熊谷市で発行する『TOWN NEWS NAOZANE』。創刊10周年記念号の表紙は、過去120号分の表紙をすべて並べて紹介しました。続けて恒例のプレゼント企画を実施。昨年は総発行部数の約1.5%の応募があった人気企画で、応募数は年々増加傾向にあります。また、創刊から掲載いただいているクライアントをはじめ、編集部、ライター、ポスティングスタッフからのメッセージも掲載しました。



▲『TOWN NEWS NAOZANE』12月号プレゼント企画

編集後記

あけましておめでとうございます。

昨今、人事系のニュースで「従業員エンゲージメント」というワードを目にはします。個人的な好みで言えば、昭和世代としては「愛社精神バッチコイ」なのですが、時勢にはそぐわないのでしょうか。とはいっても、企業に対する誇りや共感が育つことで、働く人の幸福度は確実に高まると考えています。

日々懸命に働いていれば、つらいことが多いと思います。『憂鬱でなければ、仕事じゃない』(講談社)という書籍があるように、仕事をすれば憂鬱はつきもの。そんな状況でも前へと進めるのは、「それでもこの会社が好きだ」と思える瞬間があるからではないでしょうか。

2026年、ステークホルダーの皆様はもちろん、社員一人一人の中に「中広グループへの好き」がより高まる広報活動に努めてまいります。本年もよろしくお願ひいたします。

(広報・マーケティング 岡本)

HAPPY MEDIA

『ままこっと®』



【配布先】県内全域の幼稚園・保育園・こども園
【設置先】産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等
【仕様】冊子A5版 オールカラー

『Start!』



【配布先】高校
【仕様】冊子A4 オールカラー
【発行エリア】山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県、福岡県

『Workin』



【設置先】県内全域のスーパー・ショッピングモール・コンビニ・駅・大学など
【仕様】冊子AB版 オールカラー
【発行部数】みやぎ版／25,000部 群馬版／57,000部 埼玉東版／25,000部 岐阜版／57,000部

【発行時期】隔週(月・火)※山形月一

【登録講師数】7,000名
【年間実施件数】400件以上

クーポンアプリ
「フリモ」
50万
ダウントン
突破!
フリモ
クリック!
QRコード
QRコード
クリック!

【配布先】高校
【仕様】冊子A4 オールカラー
【発行エリア】山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県、福岡県



今年も、広告費用の“燃費”が気になる!? 「ハイブリッド広告」で燃費を最適化

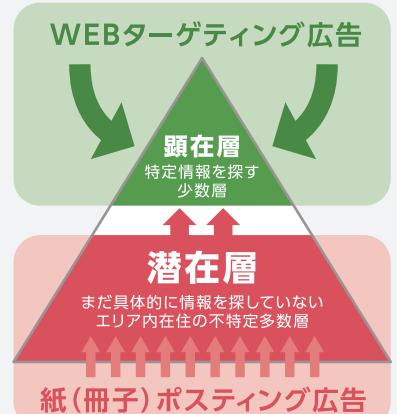
車でいうハイブリッドは「ガソリンエンジン」と「電気モーター」の組み合わせを指しますが、広告におけるハイブリッドも2つの要素に最適な活躍シーンを割り当てることで、格段に広告運用の燃費を最適化することが可能です。中広グループでは昨年2025年、数々の「ハイブリッド広告」スキーム確立に成功し、その事例を輩出してきました。

未来に求められる 利点併存・欠点補完システム

昨年、急速に進んでいた車業界のEVシフトも成長鈍化を迎えました。現時点では充電インフラ不足や価格高、航続距離の短さという課題をクリアしきれない状態です。一方、反比例するかのようにハイブリッド車の再評価も目立ちました。この流れは、ガソリンエンジンと電気モーターと、どちらが正しくどちらが主流かと覇権を争う時代から脱却していく様相を指します。本当にユーザビリティを考え、顧客スタンスに立った答えは、短距離・低燃費が得意な電気モーターと、長距離・高出力に強いガソリンエンジンを、どちらにも最適な活躍シーンを割り当て利点併存・欠点補完をし合う「ハイブリッド」であったということです。

広告の燃費を上げる ハイブリッド広告

中広グループが推進する「ハイブリッド広告」は、まさに「ガソリン」を「紙」、「電気」を「WEB」に置き換えて考えています。WEBの得意分野は瞬発的な反響。顕在層(類似サービスをすでに検索している層)へターゲティングすることによる爆発力です。そして、紙の得意分野は持続的な反響。WEBでは対象外となってしまう潜在層(サービスを知らない層)に気づきを与える顧客母数全体を押し上げる役割です。それぞれに最適な活躍シーンを割り当てるまさに「ハイブリッド」が広告にかける費用の燃費向上を実現しています。



ハイブリッド広告の“主役” 「QRグランプリ」の事例

そのハイブリッド広告における主役…もともと名脇役として欠かせない「QR」。中広グループでは、紙とWEBを接続するQRの読み回数を競い合う「QRグランプリ」を定期開催し、ハイブリッド広告の効果を全従業員で確認しています。2025年一躍注目を浴びたのは、滋賀県長浜市『ぼてじゃこ俱楽部』11月号に掲載された長浜市デジタルクーポンとのハイブリッド事例。1ヶ月のQR読み回数が3,706回、発行部数56,900部に対し6.5%という驚異的なアクション率を記録。接続先となる長浜市LINEの友だち登録数も伸び、2025年12月現在では10万名を突破しています。



▲イベント当日写真とオリジナルDM

Instagram広告を潜在層と顕在層に使い分け、200組超えの来場を記録。紙とスマホとリアルがそれぞれの最適領域で力を発揮し、顧客開拓に成功したハイブリッド事例です。

ハイブリッド広告は“求人”にも 「ATS」で反響ブースト

求人採用領域における紙とのハイブリッド対象は「ATS(採用管理システム)」に尽きます。2025年、中広グループは情報誌とATSが一体となる求人アセットを開発。地域の知られる求職情報と合併する情報誌に掲載すると、同じ求人票がIndeedをはじめとする複数の求人サイトにも同時に拡散される環境を実現しました。結果、応募数は従来比平均より倍増、応募単価の大半幅の削減に成功しました。

例えば、三重県伊勢市発行の情報誌「イセラ」にて、きのこの栽培スタッフを募集した「ホクト株式会社」では、通常応募が集まりづらい農業分野かつ人口密度が低い地域条件であるにも関わらず、1ヶ月で28名の応募を記録。特に地域の求人領域において最上級の広告燃費を実現した実績となります。



▲三重県伊勢市8月号求人コーナー掲載画面とATS画面「ホクト株式会社 三重きのこセンター」

ハイブリッド広告の“恋人” 「Instagram」からの集客事例

紙とハイブリッドする対象として、“恋人”と言えるくらい親密な関係になっているのはInstagramです。特に人気が高い広告コンテンツ「グルメ」「イベント」は、紙広告を見た消費者がQRを読み取って“映え”を覗いてみたいという心理になりやすく、ハイブリッド相性が特に高い組み合せといえます。

愛知県大府市の輸入車ディーラー「シトロエン大府」では2025年オーブンに伴うイベントを開催。店舗コンセプトに合う、フランス・パリの公園をイメージした優雅なスタイルケータリングなどを大々的に企画しました。イベント告知は紙によるオリジナルDMと

異なる性質のものに最適な役割を与えてシームレスにつなぐハイブリッド。車だけでなく広告の燃費も大幅に改善したいとお考えの皆様は、ぜひ中広グループの「ハイブリッド広告」をお試しください。

会社概要	商 号	株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.)
	東証・名証 証券コード【2139】	
創業	1978年	
資本金	4億430万円	
従業員	421名 グループ全体 742名 (2025年12月末現在)	
事業内容	フリーマガジン事業 プロモーション事業 クロスマedia事業	イベント・セミナー事業 通信販売事業 VC事業(ボランタリー・チェーン)
理念	広告業を通して「地域社会への貢献」	(地方創生に!) (社員が輝く組織に!) (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)
社是	人が命・人が宝・人が財産	(感謝の心で!)
社訓	機会損失の排除 飲水不忘掘井人	
グループ会社	株式会社中広メディアソリューションズ 株式会社ケイ・クリエイト 株式会社ケイ・エース 株式会社関西ぱど 株式会社まちトピア 株式会社中広ワークイン	https://chucu-ms.co.jp http://www.k-create.co.jp http://www.post-kps.co.jp https://www.kansapaido.co.jp https://www.machitopia.com https://chucu-workin.co.jp

第48期 基本方針

スローガン Data Driven Innovation テーマ 生産性向上

オフィシャル運営サイト	●中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ(WEB)
	●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他
	●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見積サイト)
	●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMN)
公式アカウント	●Facebook ●YouTube
	●Instagram ●X(旧Twitter)
加盟団体	●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会



次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業です
女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です

営業拠点

■ 本社	岐阜本社 岐阜市東興町27 名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-24F	《福井県》 ぎらめきくらぶ編集室 敦賀市野町40-277-2 1F TEL.070-24-2622	《愛知県》 フリモUP編集室 名古屋市中川区柳森町107-2F TEL.052-355-6111	リーガクラブ編集室 名張市鴻之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156	こくくらぶ編集室 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400	■ アライアンス事業部 VC部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511
■ FM事業部	《北海道》 SORA編集室 滝川市東町6-1-11 TEL.0126-74-6169 AO編集室 苦小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704	《山梨県》 Parupi・ビグレ編集室 甲府市上石田4-1-10 TEL.055-221-0682	《守山フリモ・アサヒトセト編集室》 守山市東本町3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 AO編集室 苦小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704	ゆいまるくらぶ・かなうらぶ あやまつこ編集室 愛知郡東郷町北山台4-1-6 [ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850 [かなうらぶ]TEL.0561-42-4855 [あやまつこ]TEL.0561-42-4885	《滋賀県》 ぽてじやこ俱楽部編集室 長浜市宮前町161-7 2F TEL.0749-68-2577	むなぶ・おるね編集室 宗像市宍戸1-3-34 1F [むなぶ]TEL.0940-72-6101 [おるね]TEL.0940-72-6102
■ EC統括室	《北海道》 SORA編集室 滝川市東町6-1-11 TEL.0126-74-6169 旭川市東6-4-7 TEL.0166-85-6158	《岐阜県》 GIFUTO編集室 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512	《守山フリモ・アサヒトセト編集室》 守山市東本町3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 AO編集室 苦小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704	Wao!Club・mintoup はしまる編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	《宮城県》 とみいす編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	《福岡県》 まいとうん編集室 志摩市阿児町鵜方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201
■ 管理本部	《宮城県》 とみいす編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	《山梨県》 Parupi・ビグレ編集室 甲府市上石田4-1-10 TEL.055-221-0682	《守山フリモ・アサヒトセト編集室》 守山市東本町3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 AO編集室 苦小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704	ゆいまるくらぶ・かなうらぶ あやまつこ編集室 愛知郡東郷町北山台4-1-6 [ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850 [かなうらぶ]TEL.0561-42-4855 [あやまつこ]TEL.0561-42-4885	《滋賀県》 ぽてじやこ俱楽部編集室 長浜市宮前町161-7 2F TEL.0749-68-2577	むなぶ・おるね編集室 宗像市宍戸1-3-34 1F [むなぶ]TEL.0940-72-6101 [おるね]TEL.0940-72-6102
■ グループ会社	《宮城県》 とみいす編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	《岐阜県》 GIFUTO編集室 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512	《守山フリモ・アサヒトセト編集室》 守山市東本町3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 AO編集室 苦小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704	Wao!Club・mintoup はしまる編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	《宮城県》 とみいす編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	■ 東京プロモーション事業部 本社 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940
■ 佐賀県	《宮城県》 とみいす編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	《山梨県》 Parupi・ビグレ編集室 甲府市上石田4-1-10 TEL.055-221-0682	《守山フリモ・アサヒトセト編集室》 守山市東本町3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 AO編集室 苦小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704	Wao!Club・mintoup はしまる編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	《宮城県》 とみいす編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	■ 東京プロモーション事業部 本社 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940
■ 関西本社	《宮城県》 とみいす編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	《岐阜県》 GIFUTO編集室 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512	《守山フリモ・アサヒトセト編集室》 守山市東本町3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 AO編集室 苦小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704	Wao!Club・mintoup はしまる編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	《宮城県》 とみいす編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	■ 関西プロモーション事業部 本社 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940
■ 九州プロモーション事業部	《宮城県》 とみいす編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	《山梨県》 Parupi・ビグレ編集室 甲府市上石田4-1-10 TEL.055-221-0682	《守山フリモ・アサヒトセト編集室》 守山市東本町3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 AO編集室 苦小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704	Wao!Club・mintoup はしまる編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809	《宮城県》 とみいす編集室 仙台市泉区中央1-33-7 2F TEL.022-341-	